

令和7年度

事務事業評価表(令和6年度の実績評価)

記入年月日  
令和7年4月15日

事務事業名		地域おこし協力隊事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	040105001043
						単独/補助	単独		025101
政策体系	政策体系上の位置付け		0401 農林業の振興				所属課		ヤマザクラ課
	総合計画の施策名		04 活力ある産業のまちづくり				課長名		
	政策名		01 農林業の振興				グループ		ヤマザクラグループ
	手段名		05 ⑤森林(里山)の保全と魅力づくり				担当者名		
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業細	一般会計		単年度繰返し(平成29年度~)	
01	02	01	18	04	00	地域おこし協力隊事業		☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	
法令根拠	地域おこし協力隊推進要綱、桜川市地域おこし協力隊設置要綱、桜川市地域おこし協力隊活動補助金交付要綱								

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要											
手段	①事務事業の概要(事務事業の全体像)					②担当者が行う業務の内容・やり方・手順					
	地域おこし協力隊員への地域協力活動の全体のコーディネート及び服務規律、活動規律の確保。 総務省が平成21年度から実施している制度で、都市住民を受け入れ、地域おこし協力隊員として委嘱し、おおむね1年以上3年以下の期間、農林漁業の心援、水源保全・監視活動、住民の生活支援などの各種地域協力活動に従事してもらいながら、桜川市への定住・定着を図る取組。(平成29年度から任用開始) 地域おこし協力隊に取り組み自治体に対し、特別交付税措置 ・募集等に要する経費：地方自治体あたり300万円上限 ・隊員の活動に要する経費：1人あたり520万円上限(令和4.5年度は480万円上限) ・起業・事業承継に要する経費：1人あたり100万円上限					地域おこし協力隊事業に関する事務 設置要綱等の策定 広報、募集 隊員の任用、更新等の手続 隊員の活動に関する総合調整 隊員の活動地域との調整及び住民への周知 隊員の活動終了後の定住支援 その他、行政や地域住民、関係団体等の連携など活動に伴う報告、連絡、相談等					
(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移											
①手段(担当者の活動内容)		④活動指標(活動量を表す指標)			単位	05年度(実績)	06年度(実績)	07年度(計画)	08年度(目標)	09年度(目標)	
地域おこし協力隊事業に関する事務 設置要綱等の策定、広報、募集 隊員の任用、更新等の手続 隊員の活動に関する総合調整 隊員の活動地域との調整及び住民への周知 隊員の活動終了後の定住支援 その他		地域おこし協力隊員の任用人数			人	5.00	5.00	6.00	6.00	6.00	
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
②対象(誰、何を対象にしているのか)		⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)			単位	05年度(実績)	06年度(実績)	07年度(計画)	08年度(目標)	09年度(目標)	
市民		桜川市の人口			人	36,794.00	36,120.00	35,356.00	34,734.00	34,112.00	
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
③意図(この事業によって対象をどう変えるのか)		⑥成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)			単位	05年度(実績)	06年度(実績)	07年度(計画)	08年度(目標)	09年度(目標)	
市内への定住・定着を図る		地域おこし協力隊員活動終了後の定住者数			人	1.00	1.00	2.00	4.00	4.00	
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(3) 投入量(事業費)の推移					05年度(実績)	06年度(実績)	07年度(計画)	08年度(目標)	09年度(目標)	期間限定総投入量	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	12,252	21,759	37,135	37,135	37,135	37,135	0
	事業費計(A)			千円	12,252	21,759	37,135	37,135	37,135	0	
	正規職員従事人数			人	3.00人	3.00人	3.00人	3.00人	3.00人		
06年度事業費実績(千円)					07年度事業費予算(千円)						
事業費の内訳	01 報酬		10,177		01 報酬		13,328				
	03 職員手当等		3,727		03 職員手当等		4,723				
	04 共済費		1,974		04 共済費		2,744				
	07 報償費		12		08 旅費		672				
	08 旅費		364		10 需用費		1,486				
	10 需用費		1,378		12 委託料		5,030				
	11 役務費		3		18 負担金補助及び交付金		9,152				
	12 委託料		601								
	13 使用料及び賃借料		12								
	18 負担金補助及び交付金		3,511	合計	21,759	合計	37,135				
(4) 当該年度の実施内容					08年度の事業内容						
※年度ごとに事業内容を記入する					09年度の事業内容						
・隊員募集 隊員の任用、更新等の手続 ・隊員の活動地域との調整及び住民への周知 ・隊員の活動終了後の定住支援 ・その他、行政や地域住民、関係団体等の連携など活動に伴う報告、連絡、相談等					・隊員募集 隊員の任用、更新等の手続 ・隊員の活動地域との調整及び住民への周知 ・隊員の活動終了後の定住支援 ・その他、行政や地域住民、関係団体等の連携など活動に伴う報告、連絡、相談等						

事務事業名	地域おこし協力隊事業	事務事業No.	40105001043	所属課	ヤマザクラ課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 総務省が平成21年度から実施している制度で、桜川市においては、平成29年度から任用開始し令和7年3月現在、5名の隊員が活動している。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 市内外へ地域の魅力を発信したり、地域活動に参加したりしている。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 地域おこし協力隊推進要綱、桜川市地域おこし協力隊設置要綱による取り組みであり結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 地域外の人材を積極的に誘致し、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援や、農林水産業への従事、住民の生活支援などの地域協力活動を行いながら、定住・定着を図る取り組みであり、妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 地域おこし協力隊員の活動内容は、地域の魅力発信や定住に向けての起業や就職、事業承継等を目指した地域資源を活用した活動など様々である。募集毎に募集要項を作成しているため、必要な人材が必要な部署に配置される。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 平成29年度から定期的に任用しており、隊員同士の協力体制も整えられつつある。廃止、休止となると、これまでの活動が中途半端となり、隊員の定住定着へ結びつかないなど影響が考えられる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 最小限の事業費、人件費で事業を実施しており削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 本事業に係る経費のほぼ全てが特別交付税対象経費(限度額)となっている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	令和6年度は引き続き5名が協力隊として活動した。行政や地域住民、関係団体等の連携など活動に伴う報告、連絡、相談を行いながら、隊員とのコミュニケーションを図った。従前と比較し広く活動に関わる周知・広報を強化したことにより、隊員が自信をもって活動に取り組める環境を構築した。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○	×																				
	低下		×	×																				
		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認